

6 主催した学会・研究会等

1月12日	第577回宮城産科婦人科学会集談会（仙台）	八重樫伸生
1月21日	第14回産婦人科研究基盤セミナー（仙台）	築地 謙治
2月3日	日本臨床細胞学会宮城支部学術集会（仙台）	田勢 亨
2月5日	第3回統合産婦人科学研究合同シンポジウム（仙台）	有馬 隆弘
2月16日	第578回宮城産科婦人科学会集談会（仙台）	八重樫伸生
3月3日	日本臨床細胞学会宮城支部研修会（仙台）	田勢 亨
3月10日	日本超音波医学会東北地方会第45回学術集会（仙台）	室月 淳
3月16日	第4回胎児心エコー実技講習会（仙台）	齋藤 昌利
3月22日	胎児心電図に関する治験のキックオフミーティング（仙台）	木村 芳孝
3月23日	第579回宮城産科婦人科学会集談会（仙台）	八重樫伸生
4月22日	第15回産婦人科研究基盤セミナー（仙台）	築地 謙治
4月27日	第580回宮城産科婦人科学会集談会（仙台）	八重樫伸生
6月8日	第9回 胚細胞呼吸測定装置研究会（山形）	八重樫伸生
6月17日	第16回産婦人科研究基盤セミナー（仙台）	築地 謙治
7月13日	第581回宮城産科婦人科学会集談会（仙台）	八重樫伸生
7月20日～21日	第5回ALSOプロバイダーコース～仙台～（仙台）	八重樫伸生
8月16日	第582回宮城産科婦人科学会集談会（気仙沼）	八重樫伸生
9月11日	研修医のための実力アップセミナー（仙台）	齋藤 昌利
10月12日	第583回宮城産科婦人科学会集談会（仙台） <共催：第40回日本産婦人科医学会学術集会>	八重樫伸生
11月9日	第6回胎児骨系統疾患フォーラム（横浜）	室月 淳
11月30日	第584回宮城産科婦人科学会集談会/みちのくSTIセミナー（仙台）	八重樫伸生
12月21日	第585回宮城産科婦人科学会集談会（仙台）	八重樫伸生
12月22日	第77回東北大学医学部産科学婦人科学教室研修医会/周産期医療若手・女性支援プロジェクト（秋保）	八重樫伸生

第 4 1 回 宮 城 県 周 産 期 医 療 懇 話 会

第 5 7 7 回 宮 城 産 科 婦 人 科 学 会 集 談 会

【日時】平成 25 年 1 月 12 日(土) 15:00~
【場所】仙台市医師会館 2 階ホール 仙台市若林区舟丁 64-12

【挨拶】 15:00~15:05
宮城県周産期医療懇話会代表世話人 岡村州博

【一般演題】 15:05~15:45
座長 仙台赤十字病院産総合周産期母子医療センター長 谷川原真吾
『2011 年宮城県周産期医療統計』
東北大学産婦人科周産期コーディネーター補佐 崔佳苗実
仙台赤十字病院新生児科副部長 三条雅敏
『東北地方 6 県における新生児蘇生法(NCPR)講習会の現状と課題』
宮城県立こども病院産科部長 宮下 進

【特別講演 1】 15:50~16:50
座長 東北大学大学院医学系研究科発生発達医学講座小児病態学分野教授 呉 繁夫
『新生児蘇生法(NCPR)普及事業の現状と課題ー低体温療法登録事業まで』
埼玉医科大学総合医療センター小児科教授兼総合周産期母子医療センター長 田村正徳 先生

【特別講演 2】 16:55~17:55
座長 東北大学大学院医学系研究科発生発達医学講座婦人科学周産期医学教授 八重樫伸生
『糖代謝異常と妊娠』
東北大学病院周産母子センター准教授 杉山 隆 先生

* 日本産科婦人科学会専門医制度研修出席証明シール・日本産婦人科医会研修参加証を発行予定です。

* 日本医師会生涯教育講座に認定の予定です。

共催：第 1 5 回宮城県委託周産期医療研修会

宮城県周産期医療懇話会代表世話人 岡村 州博
〈事務局〉〒982-8501 宮城県仙台市太白区八木山本町 2-43-3
仙台赤十字病院 TEL 022-243-1111 FAX 022-243-1101

東北大学医学部 第14回 産婦人科研究基盤セミナー

核酸調製の基礎からFFPEサンプルへの応用まで

タカラバイオでは、独国マッハライ・ナーゲル社の高品質な核酸抽出・精製試薬を2010年9月より販売しており、ユーザーの皆様にご好評をいただいております。

本セミナーでは、これらカラムを用いた核酸抽出・精製技術の基礎から応用までをご説明いたします。

カラム精製の原理を確認したい方や、ホルマリン固定パラフィン包埋組織サンプルからのRNA/DNA抽出などに挑戦してみたい方におススメです。

開催日：2013年1月21日(月)

場所：3号館8階 産婦人科医局

時間：17:00～17:40

■演者

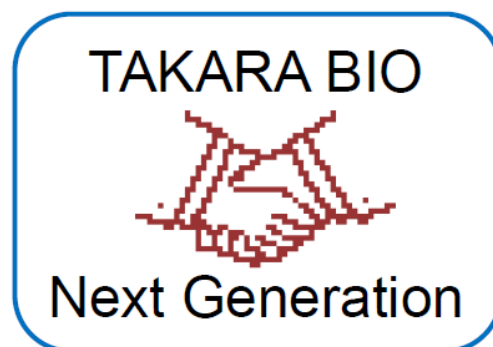
タカラバイオ株式会社

営業企画 佐藤 仁彦

■お問い合わせ

産婦人科学教室

築地 謙治：ktsuiji@med.tohoku.ac.jp



タカラバイオ株式会社

営業部 TEL 077(543)7231 FAX 077(543)9254 ウェブサイト <http://www.takara-bio.co.jp>

日本臨床細胞学会宮城県支部

第27回学術集会

学会案内・プログラム

会 長 田 勢 亨

学術担当

田 中 耕 平
岡 本 聡
遠 藤 千 顕
遠 藤 希 之
永 瀬 智
濱 中 貴久子
今 野 かおり
佐 藤 朋 春
村 田 孝 次

期 日

平成 25年 2月 3日 (日)

会 場

東北大学 医学部 臨床講義棟 大講堂

仙台市青葉区星陵町 1-1 TEL 022-274-1111

後 援

宮城県細胞検査士会

第3回 統合産婦人科学研究合同シンポジウム

「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」共催

日時：平成25年2月5日(火)18:00～

場所：臨床試験推進センター(TRセンター) 3階 Abukuma

〈第1部〉 シンポジスト(各15分)

演題1 千葉 初音

「乏精子症精子とゲノムインプリンティング」

演題2 末永 香緒里

「血管作動性因子Vasohibinがマウスの胎盤構築および妊娠に与える影響」

演題3 西本 光男

「子宮内膜癌におけるSteroid sulfatase阻害剤の有用性に関する検討」

〈第2部〉 特別講演(18:45-19:30)

信州大学医学部医学科免疫制御学 林 琢磨 先生

「老化監視：子宮間葉系腫瘍“平滑筋肉腫”に対する自己防衛機構」

がん遺伝子の異常な活性化が起こると、正常細胞は細胞老化プログラムに入って安定的に細胞周期が停止した状態をとることがあり、これは *in vivo* で腫瘍発生を阻む重要な障壁になる。今回我々は、子宮間葉系腫瘍である平滑筋肉腫で、抗腫瘍因子により老化が誘発されることを *in vitro* と臨床検体で明らかにした。こうした老化腫瘍細胞はアポトーシスへ移行しながらケモ/サイトカインを分泌し、免疫系による「老化監視」により除去される。本講演では、抗腫瘍因子誘導性老化及び老化監視が生体内腫瘍排除機構において重要な要因であること解説する。

連絡先：有馬隆博

TEL : 022-717-7844

Mail : tarima@med.tohoku.ac.jp

第 578 回宮城産科婦人科学会集談会のご案内

【日時】 平成 25 年 2 月 16 日（土） 15:00～

【場所】 東北大学医学部 1 号館 1 階 第 2 講義室（裏面地図参照）
仙台市青葉区星陵町 1-1

I. 【製品紹介】 15:00～15:10 『ヤーズ配合錠について』 バイエル薬品株式会社

開会の辞 15:10～15:15 はまざきウイメンズクリニック 濱崎 洋一 先生

II. 【伝達講習】 15:15～15:55

座長 公立刈田総合病院 院長 高林 俊文 先生

『 保険の話し 』

仙台赤十字病院 総合周産期母子医療センター長 谷川原 真吾 先生

III. 【研究報告】 15:55～16:40

座長 スズキ記念病院 副院長 田中 耕平 先生

『 BOSHI 研究からみえてきたもの 』

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 講師 目時 弘仁 先生

IV. 【特別講演】 16:50～18:00

座長 東北大学産婦人科 教授 八重樫 伸生 先生

『 我が国における PMS・PMDD の現状と薬物治療について 』

近畿大学東洋医学研究所 女性医学部門 教授 武田 卓 先生

閉会の辞 18:00～18:05 佐々木悦子産科婦人科クリニック 佐々木 悦子 先生

* 日本産科婦人科学会専門医制度研修出席証明シール・日本産婦人科医会研修参加証を発行予定です。

* 日本医師会生涯教育講座認定 2.5 単位を付与いたします。

共催：宮城県産婦人科医会／第 27 回統合産婦人科研究合同セミナー /

バイエル薬品株式会社

【今後の予定】

3 月 23 日（土）第 579 回宮城産科婦人科学会集談会（会場：仙台カンファレンスセンター）

日本超音波医学会東北地方会第 45 回学術集会のご案内

日本超音波医学会東北地方会
運営委員長 小野寺 博義

日本超音波医学会東北地方会学術集会を下記の要領で開催いたします。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

開催日時：平成 25 年 3 月 10 日(日)

会 場：仙台市情報・産業プラザ(アエル 5 階) 仙台市青葉区中央 1-3-1 TEL: 022-724-1200

大会長：室月 淳 (宮城県立こども病院)

参加費：1,000 円

演題募集期間：平成 24 年 12 月 7 日(金)～平成 25 年 1 月 18 日(金) 12:00

演題応募要領：演題申込はインターネット上でのオンライン登録で行って頂きます。

日本超音波医学会東北地方会 web (<http://www.ecei.tohoku.ac.jp/~jsum/>)からオンライン演題登録ページへアクセスし、案内に従って次の(1)～(9)を登録して下さい。登録完了後には登録情報が記載されたメールが自動的に送られますので必ずご確認ください。パスワードを使って登録後の修正も可能です。

(1)演題名 (2)発表者・共著者氏名(全員分) (3)発表者連絡先 (4)所属(全員分)

(5)本学会会員番号(全員分) (6)400 字以内の抄録 (7)講演区分 (8)講演分野

(9)静止画像ファイル(希望者のみ、1 枚、抄録集は白黒印刷ですが、地方会ホームページではカラー版をリンクします)

奨励賞：詳細は日本超音波医学会東北地方会 web をご覧の上、ご応募下さい。演題応募の際は、「奨励賞エントリー」にチェックして下さい。なお、第 44 回と第 45 回の奨励賞受賞者中、医学系は学部卒業後、工学系は大学院修士課程修了後 5 年以内の方 1 名を全国大会の新人賞に推薦いたしますので奮ってご応募ください。

発表方法：会場には PowerPoint2010 が使用できる画面サイズ 1024×768 の WindowsPC を用意しますので、発表にはその PC を使用して下さい。発表の PowerPoint ファイルで動画をご使用になる場合は、次の URL をご覧の上ご準備下さい。

<http://www.ecei.tohoku.ac.jp/~jsum/news/NoticeForPresenter.html>

但し、動画の符号化・復号化の問題が会場 PC では解決できないことがありますので、必ずご自分のパソコンをご持参下さい。

当日の PowerPoint ファイル提出：発表の PowerPoint ファイル(動画像等も含む)を、少なくとも当該セッション前の休憩時間までに受付で提出し、動作確認を完了して下さい。

ランチョンセミナー：「
」 講師

併設 第 23 回東北地方会講習会のお知らせ

東北地方会講習会(学術集会併設)を、下記の要項で開催いたします。ご出席頂いた超音波専門医、工学フェロー、超音波検査士の方には 5 単位の研修・業績単位が与えられます。

開催日時：平成 25 年 3 月 10 日(日)(午後の前半に予定)

会 場：仙台市情報・産業プラザ(アエル 5 階) 仙台市青葉区中央 1-3-1 TEL: 022-724-1200

題 目：「産婦人科超音波診断の基本－経腔超音波の有用性」講師：藤森敬也 (福島県立医科大学)

「腹部超音波検査の ABC」講師：千田信之 (千田クリニック千田内科)

参加費：1,000 円 (学術集会参加費とは別途徴収いたします)

問い合わせ先

〒980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

東北大学大学院工学研究科 電子工学専攻 金井教授室内

日本超音波医学会東北地方会第 45 回学術集会事務局

TEL: 022-795-4899, FAX: 022-263-7195, E-mail: jsum@ecei.tohoku.ac.jp

地方会ホームページ: <http://www.ecei.tohoku.ac.jp/~jsum/>

東北地方会第 46 回学術集会・第 24 回講習会は、平成 25 年 9 月 8 日(日)岩手医科大学 60 周年記念館にて開催予定です。

平成 25 年 2 月吉日

東北大学周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト主催 「第 4 回胎児心エコー実技講習会」のご案内

向春の候、先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

来る 3 月 16（土）に、神奈川県立こども医療センターの川瀧元良先生を仙台にお招きし、東北大学周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト主催にて胎児心エコー実技講習会を開催いたします。

今回はカラードプラーを使った胎児心エコーの取り方や超音波診断装置 STIC によって取り込まれた胎児心の画像データ等により胎児心疾患についてより実践的に学べる講習を目指しています。

若手や女性医師の積極的なご参加をお待ちしております。

記

日時：平成 25 年 3 月 16 日（土）10 時～19 時

場所：東北大学医学部 3 号館 8 階 産婦人科医局会議室（022-717-7251）

1. カラードプラーを使った胎児心エコーでの取り方、読み方（講演）
2. カラードプラーがスクリーニングに役立つ心疾患（STIC セミナー）

神奈川県立こども医療センター新生児科医長 川瀧 元良

申し込み方法：メールにて氏名、所属、メールアドレス、連絡先電話番号をご記入の上お申し込み下さい。

メールアドレス： masa_saito_lizard@yahoo.co.jp

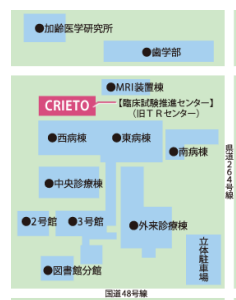
連絡先：東北大学病院産科 齋藤 昌利

参加費は無料です。なお View Pal の台数や会場の都合上、申し込みは先着 20 名で締め切らせていただきますので、何とぞご了承ください。

胎児心電図に関する治験の キックオフミーティングのお知らせ

プログラム

1. 開会挨拶
東北大学病院産婦人科教授 八重樫伸生
2. 来賓挨拶
 - 1) 経済産業省 商務情報政策室局
医療・福祉機器産業室室長 覺道崇文
 - 2) 東北大学 未来科学技術共同研究センター
副センター長（教授） 竹上嗣郎
 - 3) アトムメディカル株式会社 代表取締役社長 松原一雄
3. 治験説明
 - 1) 「開発の経緯と機械概要」
東北大学医学研究科教授 木村芳孝
 - 2) 「治験プロトコール説明」
東北大学病院講師 西郡 秀和（治験実施医）
4. 閉会



日時：平成25年3月22日（金） 18時～18時45分

場所：東北大学臨床推進センター3階「Abukuma」

連絡先： ☎980-8575

宮城県仙台市青葉区星陵町1-1
臨床治験推進センターオープンラボ
4S-06 木村芳孝研究室内

TEL：022-717-7575

第 579 回 宮城産科婦人科学会集談会

【日時】 平成 25 年 3 月 23 日 (土) 15:00～

【場所】 TKP カンファレンスセンター仙台 4 階「ホール 4B」

仙台市青葉区花京院 1-2-3 ソラガターテン・オフィス TEL 022-217-7126 (裏面地図参照)

開会の辞 15:00～15:05 東北公済病院婦人科 部長 田野口 孝二 先生

1、日本産婦人科医会がん部会事業研修会 15:05～16:35

開会の挨拶 宮城県産婦人科医会会長 中川 公夫 先生

座長 仙台医療センター 院長 和田 裕一 先生

講演 1 『ベセスダシステムと子宮頸がん検診リコメンデーションの普及』

おざわ女性総合クリニック 院長 小澤 信義 先生

講演 2 『ワクチンの接種率向上に向けて』

NTT 東日本関東病院産婦人科 近藤 一成 先生

主催：日本産婦人科医会、宮城県産婦人科医会、宮城県産婦人科学会

共催：グラクソスミスクライン、キアゲン、ホロジック、ジャパンワクチン

・・・・・・・・・・・・・・・・ 休 憩 16:35～16:45 ・・・・・・・・・・・・・・・・

製品説明 16:45～17:00 「エストラーナテープ 0.72mg について」 久光製薬株式会社

2、特別講演 17:00～18:00

座長 東北大学医学部産婦人科 教授 八重樫 伸生 先生

『 女性医学と HRT 』

弘前大学大学院医学研究科産科婦人科学講座 教授 水沼 英樹 先生

閉会の辞 18:00～18:05

仙台医療センター産婦人科 医長 早坂 篤 先生

* 日本産科婦人科学会専門医制度研修出席証明シール・日本産婦人科医会研修参加証を発行予定です。

* 日本医師会生涯教育講座 2.5 単位を申請予定です。

* 会終了後、情報交換会がございます。

共催：宮城県産婦人科医会／第 28 回統合産婦人科研究合同セミナー／久光製薬株式会社

【今後の予定】

4 月 27 日 (土) 第 580 回宮城産科婦人科学会集談会 トラストシティカンファレンス仙台

5 月 10 日 (金) ～12 日 (日) 第 65 回日本産科婦人科学会総会・学術講演会 (札幌)

分子解析も可能とするホルマリン固定に代わる新しい組織固定化技術

ホルマリン固定は病理診断に必須の技術ですが、ホルマリンにより RNA、DNA は分解され、分子解析は非常に困難となります。一方、NGS などの新しい解析技術の登場により、組織形態と分子解析を同一サンプルから解析するニーズも大きくなっています。本セミナーでは、ホルマリン固定の問題を解決できる新しい組織の固定化—安定化技術とその後の解析アプリケーション例などを簡単にご紹介します。

ご多忙のところ恐縮ですが、万障お繰り合わせの上ご参加ください。

■ 日時

2013年4月22日(月) 17:00~17:40

■ 場所

3号館8階 産婦人科医局

■ 演者

株式会社キアゲン 岡野和広

kazuhiro.okano@qiagen.com

■ お問い合わせ

産科婦人科学教室 築地謙治

ktsuiji@med.tohoku.ac.jp





第580回宮城産科婦人科学会集談会 第6回宮城女性医学懇話会

- 日時：平成25年4月27日(土) 15:00～
- 会場：トラストシティ カンファレンス・仙台 5階「Room2・3」
仙台市青葉区1番町1-9-1 トラスタワ-5階 TEL:022-224-3801

【製品説明】15:00～15:15 「SSRI レキサプロ錠10mgについて」 持田製薬(株) 支店学術
総 会：15:15～15:30

特別講演Ⅰ：15:40～17:00

座長：仙台赤十字病院 総合周産期母子医療センター長 谷川原 真吾 先生

(1) 産科超音波

a) 妊娠中期の胎児スクリーニング

b) Velocity Vector Imaging

(2) 注意を要する胎児心拍所見 – Saltatory Pattern –

岩手医科大学 産婦人科学講座 教授 菊池 昭彦 先生

特別講演Ⅱ：17:10～18:10

座長：東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野 教授 八重樫 伸生 先生

『更年期・術後卵巣機能欠落に基づく抑うつ不定愁訴管理の実際』
－ 産婦人科医からみた抑うつ症状－

東京女子医科大学産婦人科 教授 平井 康夫 先生

※日産婦学会専門医制度研修出席証明シール、日本産婦人科医会研修参加証、
日本医師会生涯教育講座参加証(2単位)を発行します。

ご依頼いただきました情報は、持田製薬株式会社における医薬品の適正使用にかかわる情報活動などに使用させていただきます場合がございます。また、安全管理のために必要な措置をとり、第三者に提供することなく管理いたします。

共催：宮城女性医学懇話会/第29回統合産婦人科研究合同セミナー
持田製薬株式会社/持田シーメンスメディカルシステム株式会社

第9回 胚細胞呼吸測定装置研究会

(第3回 厚生労働省班会議)

日時：平成25年6月8日（日）9:00～10:00

場所：山形テルサ 3階 研修室A

プログラム

座長 東北大学 宇都宮裕貴

① 開会の辞

山形大学 阿部 宏之

② チップ試作品の開発状況

東北大学 宇都宮裕貴

③ 平成25年度厚生労働省科研費について

東北大学 宇都宮裕貴

④ 各施設における進捗状況

各施設担当者

⑤ 閉会の辞

東北大学 八重樫伸生

共催：東北トランスレーショナルリサーチ拠点形成ネットワーク協議会

東北大学医学部第16回産婦人科研究基盤セミナー

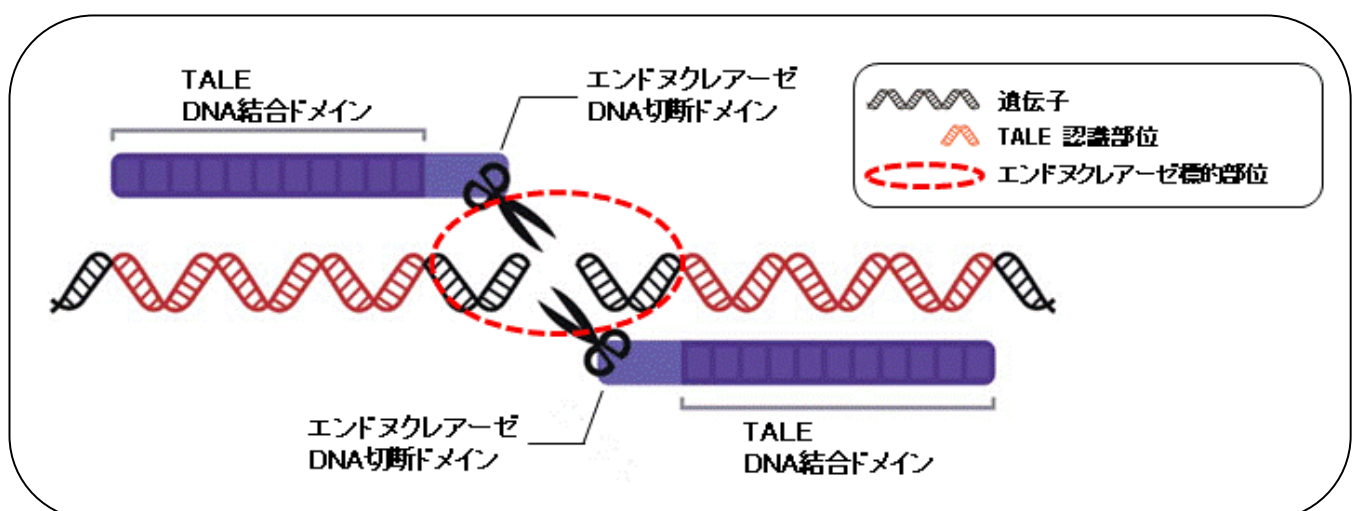
TALENテクノロジーを用いた 新規遺伝子改変技術

【TALENとは】

TALENはDNA配列特異的な結合ドメイン (TALE)がゲノム上の特異的な遺伝子配列 (およそ17bp)を認識し、DNA切断ドメインが切断することによりDNAの2本鎖切断を引き起こす遺伝子改変技術です。これによってゲノム配列の改変を容易に行うことが可能で、標的遺伝子の欠損、挿入、改変 (置換)が生じた細胞・生物を得ることが出来ます。

本セミナーではTALEN技術の使用例および応用例をご紹介します。

日程： 平成25年6月17日(月) 17:00～17:30
場所： 3号館8階 産婦人科医局
演者： 和光純薬工業株式会社 木元 正和
お問合せ： 産婦人科学教室 築地 謙治
ktsuji@med.tohoku.ac.jp



和光純薬工業株式会社
東北営業所 藤原 潤
TEL:022-222-3072



ALSO プロバイダーコース

～仙 台～



ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) は、米国家庭医療学会と米国产婦人科医会が1993年に正式に採用した分娩に関わる医療スタッフを対象とした、最新エビデンスに基づいた安全なお産のための講習会です。今回、東北大学病院「命の誕生」プロジェクトの主催により、東北地方では初めてALSOプロバイダーコースを開催することになりました。

ALSOは心肺蘇生法講習会ACLSの産婦人科版に相当するものです。安全なお産は誰もが願っており、お産に関わる医療関係者にとって最も大切な使命です。しかしお産には本質として常に危険が潜んでいるため、日々更新される新しいエビデンスを取り入れた標準的なお産に関する知識と技術を体系的に学ぶことが重要です。そのための講習会がALSOです。

1991年にACLSとATLSを参考にして、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP—米国家庭医学会) によって認可され、現在、全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムのうち、78%がALSOをプログラムに導入しています。さらにALSOコースは世界的にも普及活動が行われており、2009年現在までに50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しました。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースの終わりにあります。ALSOは分娩室における産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは二日間にわたって行われます。妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性などのレクチャーがあります。少人数グループによるワークショップは、肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、症例検討などです。 プロバイダーコース

を受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができます。プロバイダーコースのインストラクターになることを希望する場合、さらに一日間のインストラクターコースを受講しなければなりません。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約200名がALSOコースを修了しました。これまでの受講者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在あるいは近い将来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加しています。

産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実です。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOであり、今後日本で普及していくことを願ってやみません。

セミナー：ALSO プロバイダーコース

主催：東北大学「周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト」

共催：宮城県立こども病院（宮城県周産期医療従事者育成・再教育研修事業）

NPO 法人周産期医療支援機構（OPPIC）

開催場所：東北大学医学部良陵会館（クリニカルスキルズラボ）

日時：平成25年7月20日（土）、21日（日）

定員に達し、すでに公募は終了いたしました。

1. 危機にある東北地方の周産期医療の支援という開催の主旨に鑑み、受講料などはすべて東北大プロジェクトによって負担されますが、今回のALSOプロバイダーコースの受講者は東北6県の医療者に限らせていただきますのでご了承ください
2. 受講申し込みはご本人がPCメールでお送り下さい。murotsuki@yahoo.co.jp あてです。
3. 題名に「ALSO 受講」とつけたうえで、氏名、ふりがな、氏名のローマ字表記、所属（施設、診療科、役職、職名）、卒業年度（西暦）、PCメールアドレスをお送りください。
4. 数日中にお返事をお返しいたしますが、届かない場合は再度お問い合わせください。問い合わせ先は、022-391-5111（代）宮城県立こども病院産科・室月淳です

第581回宮城産科婦人科学会集談会

日時 2013年7月13日(土) **16:00~**

会場 江陽グランドホテル 4階「銀河の間」

※開始時間が通常と異なります。
くれぐれもご注意ください。

仙台市青葉区本町二丁目3-1 TEL:022-265-2252

【製品説明】 16:00~16:15 『ルナベル配合錠について』

富士製薬工業(株) 学術情報課

【開会の辞】 セイントマザークリニック 院長 佐藤 聡二郎 先生
【報告】

座長：石巻赤十字病院 産婦人科 部長 吉田 祐司 先生

(1) 16:20~16:35 『周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト』

— 周産期医療整備事業5年間の総括、採択大学中トップを踏まえて—

東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害産婦人科学分野

教授 伊藤 潔 先生

(2) 16:35~16:55 『東北大学で開始したロボット支援手術』

東北大学産婦人科 准教授 宇都宮 裕貴 先生

— 休憩 (16:55~17:10) —

【特別講演】 17:10~18:10

座長：東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野教授

八重樫 伸生 先生

『ライフステージに応じた子宮内膜症治療』

演者：鳥取大学医学部 生殖機能医学分野 教授 原田 省 先生

【閉会の辞】 気仙沼市立病院 産婦人科 科長 松田 尚美 先生

【情報交換会】 18:15~

○日本産科婦人科学会専門医制度研修出席証明シール・日本産婦人科医会研修参加証を発行致します。

○日本医師会生涯教育講座参加証(1.5単位)を発行致します。

共催：文部科学省 周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト /

第30回統合産婦人科研究合同セミナー / 富士製薬工業株式会社

第 582 回 宮城産科婦人科学会集談会のご案内

平成 25 年度 宮城県産婦人科医会気仙沼ブロック出向懇談会

日時:平成 25 年 8 月 16 日(金)18:00～

場所:すし屋の泰平

気仙沼市田中前 1-5-16 TEL:0226-23-6250

開会の辞 18:00～

遠藤産婦人科医院 院長 遠藤 紘 先生

座長 東北大学医学部 産婦人科 教授
宮城県産婦人科医会 顧問 八重樫 伸生 先生

講演 I 「 東北メディカル・メガバンクの三世代コホート事業 」

東北メディカル・メガバンク機構 地域医療支援部門

周産期医学分野 講師 目時 弘仁 先生

講演 II 「 教室の教育・リクルート体制について 」

東北大学病院 婦人科 助手 羽根田 健 先生

閉会の辞 気仙沼市立病院 産婦人科 科長 松田 尚美 先生

* 会終了後、懇親会がございます。

* 日本産科婦人科学会専門医制度研修証明シール・日本産婦人科医会研修参加証を発行予定です。

* 日本医師会生涯教育講座認定 2 単位を付与いたします。

共催：宮城県産婦人科医会／第 31 回統合産婦人科研究合同セミナー

【今後の予定】

・9 月 7 日(土)8 日(日) 第 61 回北日本産科婦人科学会(旭川)

・10 月 12 日(土)第 583 回宮城産科婦人科学会集談会・第 40 回日本産婦人科医会学術集会

—第74回— 研修医のための実力アップセミナー

この度、初期研修医の先生を中心に、セミナーを開催する運びとなりました。

第74回は「救急シリーズ②産婦人科／小児科救急疾患の初期対応」をテーマとして、東北大学病院産婦人科 斎藤昌利先生、仙台市立病院小児科 鈴木力生先生にご講演いただきます。質疑・ディスカッションの時間も設けておりますので、日常診療の疑問も含めて解消する機会となれば幸いです。

尚、後期研修医、大学院生、看護師、学生、指導医の皆様にも広くご参加いただきたくご案内申し上げます。

【日時】 2013年 9/11(水) 18:20～

【場所】 東北大学医学部 臨床小講堂(講義棟1階)

※裏面地図参照

《薬剤情報提供》 18:20-18:30

『注射用エラスポール 最近の話題』 小野薬品工業株式会社

《講演》 18:30-19:30

テーマ:救急シリーズ②産婦人科／小児科救急疾患の初期対応

演者:東北大学病院 産婦人科

斎藤 昌利 先生

仙台市立病院 小児科

鈴木 力生 先生

● お問い合わせ

東北大学病院 卒後研修センター(総務課臨床研修係) 城

Tel:022-717-7765 Fax:022-717-7143 E-mail:hos-sotu@bureau.tohoku.ac.jp

共催 東北大学病院 卒後研修センター／小野薬品工業株式会社

※当日、弁当(飲み物付き)をご用意しております。

平成 25 年 9 月 吉日

第 583 回宮城産科婦人科学会集談会

【日時】平成 25 年 10 月 12 日（土）

第 40 回日本産婦人科医会学術集会

【日時】平成 25 年 10 月 12 日（土）、10 月 13 日（日）

【場所】江陽グランドホテル(両日共に)

仙台市青葉区本町二丁目 3-1 TEL:022-265-2252

プログラムにつきましては裏面をご参照下さい。

日本産科婦人科学会専門医制度研修証明シール・日本産婦人科医会研修参加証は、
12 日、13 日の両日ともに発行致しますので、ぜひご出席下さい。

* 日本産科婦人科学会専門医制度研修証明シール・日本産婦人科医会研修参加証を発行予定です。

* 日本医師会生涯教育講座認定を各日 5 単位付与する予定です。

共催：宮城県産婦人科医会／第 32 回統合産婦人科研究合同セミナー

【今後の予定】

- ・ 11 月 30 日（土）第 584 回宮城産科婦人科学会集談会
- ・ 12 月 21 日（土）第 585 回宮城産科婦人科学会集談会

第40回日本産婦人科医会学術集会・宮城県大会

担当：東北・北海道ブロック 開催地：宮城県仙台市 大会会長：中川公夫

メインテーマ：今、伊達な魅^み知^ち国^{のく}で。 ～産婦人科から復興に向けての提言～

会期：平成25年10月12日(土)・13日(日)

会場：江陽グランドホテル(仙台市青葉区本町二丁目3-1 TEL:022-265-2252)

学術集会参加費：事前登録10,000円(ご家族・初期研修医・学生無料) 当日参加費12,000円

※総懇親会参加費：10,000円(事前申し込みが必要です。)いずれの参加申込 締切日 平成25年8月31日(土)

大会プログラム

平成25年10月12日(土)

受付 11:30～12:30

開会式 12:30～13:00

会長講演 13:00～13:45 「周産期のメンタルヘルスケアと児童虐待の予防」

日本産婦人科医会会長 木下勝之

教育講演 13:50～16:40

第1会場-1. 「広域地域における若手産婦人科医教育の体制確立に向けて」

北海道大学教授 櫻木 範 明

-2. 「妊娠と糖代謝異常」

東北大学教授 杉山 隆

-3. 「妊娠中の尿蛋白について」

北海道大学教授 水上 尚 典

-4. 「胎児心電図の基礎と今後の展望」

東北大学教授 木村 芳 孝

第2会場-5. 「婦人科がんの現状と今後～特に卵巣がん～」

岩手医科大学教授 杉山 徹

-6. 「腔式手術の現状と未来」

札幌医科大学教授 齋藤 豪

-7. 「男性不妊とその要因」

旭川医科大学教授 千石 一 雄

-8. 「不妊症治療に関する最近の話題」

秋田大学教授 寺田 幸 弘

指定講演 16:50～18:10

第1会場-1. 「オフィスギネコロジーの収益評価から見た現状とこれから」

日本産婦人科医会医療経営委員会委員長 小関 聡

2. 「産婦人科女性医師・現状と問題点」

日本産婦人科医会常務理事 中井 章 人

第2会場-3. 「性犯罪被害の現状と被害者支援に対する産婦人科医会の活動」

日本産婦人科医会常務理事 安達 知 子

-4. 「産科医、小児科医、助産師、保健師でサポートするHTLV-1母子感染対策」

富山大学教授 齊藤 滋

総懇親会 19:00～21:00 江陽グランドホテル(仙台市青葉区本町二丁目3-1 TEL:022-265-2252)

(必ず、事前の申し込みをお願いいたします。)

平成25年10月13日(日)

三題断ワークショップ『地震・産婦人科・ICT』9:00～12:00

1. 「大地震が周産期医療に与えたインパクト」

東北大学教授 菅原 準 一

2. 「大震災は女性の保健医療システムにどう影響したか」

東北大学教授 伊藤 潔

3. 「災害時の乳幼児栄養と母乳育児支援」

仙台市立病院産婦人科部長 渡辺 孝 紀

4. 「福島県の妊産婦の現状と放射線影響」

福島県立医科大学教授 藤森 敬 也

5. 「宮城における地域医療介護情報連携」

東北大学教授 中谷 純

6. 「岩手県で私たちが取り組んでいる周産期地域連携 一負けない理想郷 いーはとーぶを目指して」

岩手県立大船渡病院副院長 小笠原 敏 浩

7. 「セナード(みやぎ産婦人科医療情報ネットワーク協議会)」

宮城県産婦人科医会常任理事 松永 弦

ランチョンセミナー 12:00～13:00

第1会場 「産科医療からみた脳性麻痺の問題点」

宮崎大学教授 鮫島 浩

第2会場 「妊娠中後期の胎児スクリーニングから新しい超音波診断技術まで」

岩手医科大学教授 菊池 昭 彦

第6回胎児骨系統疾患フォーラム

主催： 胎児骨系統疾患フォーラム

共催： 厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患等克服研究事業・重症骨系統疾患の予後改善に向けての集学的研究班

骨系統疾患コンソーシウム

日時：平成25年11月9日（土）13:30～17:00

場所：横浜ワールドポーターズ・イベントホールA <http://www.yim.co.jp/index.html>

プログラム:

午前 第25回日本整形外科学会骨系統疾患研究会 パシフィコ横浜（隣接徒歩5分）

参加費 2000円 非会員も参加可能

10:18～11:18 教育研修講演

- ・産科診療における骨系統疾患への対応 静岡県立こども病院周産期センター 西口 富三
- ・全国ネットワーク胎児骨系統疾患フォーラムの活動 宮城県立こども病院 室月 淳

11:25～11:55 招待講演

- ・軟骨マトリックス合成異常症：II型コラーゲン異常症とプロテオグリカン合成異常症
東京都立小児総合医療センター 西村 玄

午後 第6回胎児骨系統疾患フォーラム

13:30～ 低フォスファターゼ症を取り巻く現状と展望 室月 淳

14:15～ タナトフォリック骨異形成症と呼吸不全性胸郭異形成症への病名変更について

兵庫医科大学 澤井英明

14:15～ 症例検討会

パシフィコ横浜



みちのくSTI(STD)セミナー in 仙台2013

第584回 宮城産科婦人科学会集談会

■ **DATE** - 2013年11月30日(土) 15:45~18:10

■ **VENUE** - トラストシティカンファレンス・仙台 仙台トラストタワー5F
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目9-1 TEL:022-224-3801 *地図裏面

■ **情報提供** - 「グレースピット錠」

Opening Remarks

東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野 教授 八重樫 伸生 先生

■ 一般演題(16:00~16:40)

座長 東北公済病院 婦人科部長 田野口 孝二 先生

1. 『咽頭症状を有する患者における咽頭からの淋菌、クラミジアの検出』
東北労災病院 耳鼻咽喉科 織田 潔 先生
2. 『男子尿道炎におけるアデノウイルス、単純ヘルペスウイルスの検出とその意義』
あいクリニック 院長 伊藤 晋 先生
3. 『岩手県におけるクラミジア・淋菌感染の最近の現状』
岩手県立二戸病院 産婦人科 科長 秋元 義弘 先生

■ 特別講演(16:40~18:10)

座長 東北大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野 教授 荒井 陽一 先生

『 性感染症—その混沌した現状— 』

札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座 講師 高橋 聡 先生

座長 東北大学病院 臨床研究推進センター 教授 渡部 洋 先生

『 女性のクラミジア・淋菌感染症の現状と課題 』

京都府立医科大学大学院 女性生涯医科学 准教授 岩破 一博 先生

Closing Remarks

東北大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

教授 香取 幸夫 先生

* 当日は参加費として1000円頂いております。

- * 第33回統合産婦人科研究合同セミナーと合同開催とします。
- * 当会は以下の単位等を申請しております。
 - 日本泌尿器科学会専門医教育研修単位3単位
 - 日本産科婦人科学会専門医制度研修証明シール(10単位)
 - 日本産婦人科医会研修参加証
 - 日本医師会生涯教育講座参加証(2単位)
 - 日本耳鼻咽喉科学会学術集会参加実績(5単位)
 - 日本性感染症学会認定制度(5単位)

共催 みちのくSTI(STD)研究会
東北泌尿器科談話会
宮城産科婦人科学会
宮城県耳鼻咽喉科医会
皮膚病ネットワーク
日本性感染症学会東北支部
第一三共株式会社

文部科学省 周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト

第 585 回宮城産科婦人科学会集談会のご案内

【日時】平成 25 年 12 月 21 日(土) 15:00～

【場所】トラスティシティカンファレンス・仙台 5F「ROOM2」

宮城県仙台市青葉区一番町 1-9-1 TEL : 022-224-3801

15:00～ 科研製薬製品紹介「クレキサン」

15:15～ 開会の辞 東北公済病院 診療部長・産科部長 上原茂樹 先生
15:20～17:00

【一般講演】

10 例程度予定（演題名は裏面参照）

17:00～17:20

【報告】 座長 東北大学病院 周産母子センター 准教授 永瀬智 先生

『 絨毛性疾患の症例登録に関する報告 』

東北大学病院 婦人科 辻 圭太 先生

17:20～17:30 コーヒーブレイク

17:30～18:30

【特別講演】 座長 東北大学医学部産科学婦人科学 教授 八重樫伸生 先生

『 子宮頸がん化学療法における最近の話題 』

がん研有明病院 婦人科 部長 竹島 信宏 先生

18:30～ 閉会の辞 東北大学病院 婦人科 助教 徳永英樹 先生

- * 日本産科婦人科学会専門医制度研修出席証明シール・日本産婦人科医会研修参加証を発行予定です。
- * 日本医師会生涯教育講座認定 2.5 単位を付与いたします。
- * 会終了後、情報交換会がございます。

共催：宮城産婦人科医会／第 34 回統合産婦人科研究合同セミナー／科研製薬株式会社／
文部科学省 周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト

【今後の予定】

- ・1 月 18 日（土）第 586 回宮城産科婦人科学会集談会
- ・2 月 15 日（土）第 587 回宮城産科婦人科学会集談会

第 77 回 東北大学医学部産科学婦人科学教室 研修医会

平成 25 年 第 2 回後期研修説明会（平成 26 年度産婦人科専攻医募集）

共催：文部科学省 大学病院人材養成機能強化事業（周産期医療に関わる専門的スタッフの養成）
「周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト」

日時：平成 25 年 12 月 22 日(日)

会場：秋保温泉ホテルニュー水戸屋

平成 26 年度より東北大学および関連施設における産婦人科専攻研修プログラムに参加する若手医師を募集しています。プログラム参加者が一同に会し、学会形式で発表する研修医会に合わせて、説明会を開催する予定です。説明会参加希望者は担当者までご連絡ください。

担当：徳永英樹

電話：022-717-7254

メール：tokunagahideki@med.tohoku.ac.jp